中部版

地域の催しは静岡支局へ FAX054(203)6477

静岡市

中央卸売市場の将来構想 23年度にも策定

静岡市は、将来構想検討委員会を設け、中央卸売市場「将来の在り方」の検討を進めている。2023年度は、引き続き検討委員会での議論を深めるとともに、パブリックコメントを実施し「将来構想」の策定へと段階を進める方針。

静岡市中央卸売市場の全景＝静岡市中央卸売市場経営展望（平成30年4月版）より

国の卸売市場整備基本方針が廃止され、市独自の方針を策定する必要がある。老朽化等の課題解決や、市場機能のさらなる拡充を踏まえた新たなビジョンを策定する。

23年度当初予算案には1104万円余りを計上。外部有識者を交えた検討委員会を継続開催し、課題や必要とされる機能を整理し、調査等を実施する。

検討委員会は「周辺地域との連携の検討」「将来構想の検討、決定」がテーマ。再整備手法やDX導入可能性の検討、他市事例収集などを経て、将来構想を作成する。

その後、24年度には施設整備に関する基本構想を策定。整備の具体的手法などをまとめていく方針。

1976年に開場、取扱品目は青果、水産物。施設や設備の老朽化が進んでおり、食品流通に対応した市場の活性化が重要な課題となっている。

当時、建設費用は87億3900万円をかけた。場所は葵区流通センター1ノ1、敷地17万3961平方㍍。管理棟（7111平方㍍）、青果棟（2万4651平方㍍）、水産棟（1万4047平方㍍）、水産配送センター（767平方㍍）、関連棟（3389平方㍍）、冷蔵庫棟（3478平方㍍）、青果卸倉庫棟（1507平方㍍）、仲卸倉庫棟（520平方㍍）などがあり、合計延べ面積は6万0262平方㍍。その他、敷地内に約1300台分の駐車場と屋上駐車場500台分がある。

2018年6月に卸売市場法が改正、取引ルールの自由度向上など規制が緩和され、地域の創意工夫で市場の多機能化を目指すことが可能となったこともあり、新たな市場を創出する機会と市は捉え、今後の市場の在り方を検討していく。

吉田町

吉田公園南側整備 基本設計を23年度

吉田町は、県営吉田公園南側の国有地にスポーツ・レジャーゾーンの形成を計画しており、2023年度は基本設計に着手する。当初予算案に設計費として1830万円を計上した。

対象は県営吉田公園の南側で川尻防潮堤の北側に位置する敷地約3・1㌶。多目的広場や駐車場などを整備する。

23年度に基本設計、24年度に詳細設計、25年度に工事着手を予定している。供用開始は26年度以降となる見通し。

活用可能性調査と基本計画の策定は不二総合コンサルタント島田営業所（島田市）が担当した。

運営手法や管理手法については、今後検討を進めていく。

静岡市

駿府城天守台野外展示 実施設計 23年度早々に

静岡市は、駿府城天守台野外展示事業として、2023年度早々に野外展示実施設計を発注する。23年度当初予算案に、関連事業費825万円を計上している。

工事は24年度にも着手する。

事業は、天守台跡地の遺跡約2㌶を保存しつつ、公園展示施設として整備するもの。22年度は保存と展示の在り方などを、再度慎重に検討するため、野外展示の実施設計を23年度に延期した。特殊施設でもあり、発注方式などは現在も検討中だ。

今後は、24年度から広場と遺構保存の整備に着手。並行してガイダンスや休憩施設などを兼ねた発掘情報館を整備する。同館は24～26年度で設計、工事を進める。建設地は、現在プレハブを設置している敷地を利用し、木造平屋などの簡易な施設を見込む。

市は整備方針で、「歴史を感じる遺構整備」「デジタル技術などを活用したコンテンツの展開」「歴史博物館、駿府城公園施設との連携」の三つをポイントに絞り、イベント広場や夜間景観、ガイダンスや休憩施設などの発掘情報館を整備する。

基本設計は、文化財保存計画協会（東京都千代田区）が担当した。

発掘調査現場

藤枝市 岡部町内谷

工業用地整備へ 可能性調査など23年度

藤枝市は、岡部町内谷地区の工業用地整備を推進するため、2023年度は可能性調査や道路の測量などを実施する。当初予算案に4400万円を計上した。

計画では工業用地は、内谷三輪公園（岡部町内谷1587ノ3）南西側で吐呂川北側に位置。敷地面積は約7㌶。現況は田畑で、用途地域は市街地活性化調整地域。

22年度には、静岡県企業局と連携して基本調査を実施。フジヤマ藤枝営業所（藤枝市）が担当した。

結果を踏まえ、23年度は地域住民や地権者との協議を進め、詳細調査に着手する。詳細調査では、地質調査や自然環境調査、測量などを実施する見込み。

工業用地内には、焼津岡部線（延長約450㍍）と三輪立花線（延長約200㍍）などの道路整備を計画している。いずれも全幅員16㍍。23年度は、道路の測量や地質調査、予備設計を行う。三輪立花線には川幅約20㍍の吐呂川が横断しているため、橋梁の予備設計も実施する予定。

区域区分の変更（市街化区域への編入）に向けた調査や検討も進めていく。

地域NEWS

島田第一小でキャリア教育

大河原建設

大河原建設（島田市、朝倉純夫社長）は、島田第一小学校の6年生106人を対象にキャリア教育を行った＝写真。

同校からの依頼を受け実施したもので、当日は同校で現在施工中の校舎建設工事について、図面資料を用いて新校舎がどのような配置・間取りになるか説明し、具体的な仕事内容や職種などについても解説した。

また、実際の現場を見学し、中学へ進学する6年生に今後の進路選択に少しでも参考になるよう、仕事のやりがいや働く喜びなども伝えた。

児童たちは普段見ることができない工事現場を真剣な表情で見学し、質疑応答も行った。同社では今後も、キャリア教育を通じて建設業の魅力を発信していく方針。

地域貢献

本年度最後の道路サポーター活動

第一建設

第一建設（静岡市葵区、市川照社長）は3日、道路サポーター活動として清閑町田町線（しあわせ通り）の美化活動を行った＝写真。2022年度6回目の活動となり、市川社長以下5人が参加した。

当日は午後1時からの活動となった。対象路線は、本社社屋付近の静岡市葵区清閑町・幸町間の延長750㍍。参加者は、歩道（インターロッキング目地）、樹帯の除草や清掃を行った。

道路サポーター活動は、毎年度計6回行っており、今回が本年度最後の活動となった。

市川社長は、「本年度も予定通り6回の活動を行うことができた」と話し、社員に向けては「道路サポーターだけでなくさまざまな地域に貢献できる活動を積極的に行ってほしい」と話していた。

焼津市立総合病院で清掃

橋本組

橋本組（焼津市、橋本真典社長）は4日、焼津市立総合病院の駐車場や周辺道路で清掃活動を実施した。落葉や木々の回収処理、ごみ拾いやガードレール汚れの美化作業を行った。

同社は、同病院の新職員宿舎A棟の建設工事を担当しており、同病院からの要望を受けて清掃活動を開催。同社社員8人が参加し、環境美化に励んだ。

担当者は「病院は多くの市民が活用する。これからも地域の方々の力になれるよう活動をしていきたい」と話し、地域貢献に意欲的な考えを示した。

ガードレール清掃の様子

エアコン・空調機の除菌洗浄 / 安心防カビ
守護神&カビ守護神
細菌・カビ菌・ウイルスへの業界トップレベルの
632菌への効果
資料名称で全国28日後比較
食品工場 / 病院でも継続ご利用の実績！
●各種安全性試験済み
●大がかりな工事は必要なし
●各空調機に対応
処理なし
カビ守護神
天カセ型
リームキャビコン
エアハン
《カビ・ウイルス・細菌対策部門》静岡市駿河区小鹿1394番地の1
有限会社 アール・シー ウメハラ
TEL.054-203-6477 カビ守護神 検索